

# 令和元年度事業計画

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

## I. 基本方針

環境問題や農山村の過疎化などの社会の課題に対して、これまで通り多彩なボランティアプログラムの企画・提供、また情報発信を行っていきます。その一方で、今後も継続的な事務局運営ができるよう、事業の見直しと財政基盤の整備を進めていきます。事業収益のバランスを考慮しながら緑のふるさと協力隊事業も含めた既存事業の積極的な見直しを実施し、当センターの果たすべき役割を再度検討したうえで、自治体や企業との連携を深め、社会のニーズや時代の流れに即した新規事業の実施を目指します。

## II. 事業計画

### 1. 「緑のふるさと協力隊」事業

「緑のふるさと協力隊」は若者と農山漁村がともに地域活性化に取り組むプログラムです。

今年度で 26 年目を迎え、11 市町村に 11 名の隊員を派遣します。隊員の活動が充実したものになるよう、受入先自治体と連携をとりながら、年間を通じたサポートに取り組みます。

#### (1) 平成 31 年度（第 26 期）派遣及び活動の実施

- ・市町村数と人数 11 市町村に 11 名（男 3 名、女 8 名）
- ・実施期間 4 月 4 日～3 月 15 日
- ・事前研修 4 月 4 日～4 月 10 日（山梨県立ゆずりはら青少年自然の里）
- ・中間研修 9 月 5 日～9 月 7 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・総括研修 3 月 12 日～3 月 15 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・職員現地訪問 6 月～7 月

#### (2) 受入先担当者会議の開催

- ・開催 5 月 30 日（木）～31 日（金）1 泊 2 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・内容 受入市町村担当者同士の情報交換

#### (3) 短期体験プログラム「若葉のふるさと協力隊」の実施

- ①目的 農山村で暮らしてみたい、体験してみたいという農山村と関わるきっかけを求めている人、「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対

象に、農山村での暮らしを体験できる機会を提供する。また「緑のふるさと協力隊」への参加を促す。

- ②時期 8月～11月 4泊5日
- ③場所 「緑のふるさと協力隊」派遣先及び受入可能な OBOG の所在地。
- ④内容 農林漁業、草刈りや環境整備など集落が必要としている作業、祭りや伝統行事の手伝い

#### (4) 「緑のふるさと協力隊」関係団体との連携

- ① 緑のふるさと協力隊 OBOG との協力連携（隊員募集、経験談の発信、短期プログラムの協力）
- ② その他、自治体や大学など

#### (5) 令和2年度（第27期）募集計画

- ①受入自治体募集
- ②協力隊員募集
  - ・説明会の実施 ・ポスター、チラシの配布 ・インターネット等を活用した広報活動の展開
- ③日程
  - ・受入先募集 11月末締切 ・隊員募集 12月下旬締切 ・隊員の面接選考(東京)R2年1月実施

## 2. 体験・交流事業

### (1) 森林ボランティア「山と緑の協力隊」の実施

- ① 森林ボランティア開催
  - ・赤沢（長野県） 5月、10月 計2回
  - ・三宅島（東京都） 7月、10月 計2回
  - ・湘南（神奈川県） 6月、9月、11月 計3回
- ②「森林・竹林・里山を整備する仲間の会②」との連携・支援
- ③日本大学サークル「森友」活動支援

### (2) 企業における社会貢献活動、CSR、社内研修および交流活動の支援協力

- ①メタウォーター(株)（奥多摩町）、沖電気工業(株)（伊豆市）、電機連合（陸前高田市）、(株)LIXIL 住宅研究所（上野原市）、日本エア・リキード(株)（陸前高田市）
- ②新規企業および受入自治体の開拓、プログラム構築
- ③企業プログラム拡大に向けた広報活動

### (3) 中国・緑化交流事業

- ①緑の親善大使 河北省豊寧県での活動を実施 4月18日～22日
- ②企業プログラム (株)日本触媒（エンジンホロ旗）

### (4) 「緑の学校」（環境教育プログラム）

- ①緑の作品や教材を活かし、地域や学校へ出前授業の開催、訪問学習の受入

②語り部活動の支援 ③作品の貸し出し

**(5) 学校との連携**

渋谷教育学園渋谷中学高等学校ボランティア部（長野県栄村）

**3. 広報・PR 事業**

**(1) 機関誌の発行**

①機関誌「タマリスク」の発行・年2回発行 B5・8ページ/カラー1,000部

②情報誌「緑の通信」の発行・年3回発行 A3・両面/カラー300部会員向け

**(2) 各種展示会及びイベント参加**

・メーデー（代々木公園） 4月27日（土）

・中央区エコまつり 6月2日（日）

・中央区もりもりフェスティバル 8月1日（木）

**(3) ホームページ、facebook 等インターネットによる広報活動**

・プログラム告知、開催案内としてホームページや募集掲示板に投稿

・facebook 等に適宜活動報告を掲載

**III. 組織・運営基盤の計画**

**(1) 財政基盤の整備**

会員の加入促進、事業収入の増額等、事前の財源確保に努力し、堅実な財政運営を実現して

行きます。とくに法人会員・寄付金増に力を入れ、財政の充実に努めます。

**(2) 共同活動の推進**

・国、自治体及び関係機関・団体との共催事業や協力事業を積極的に推進します。

・各地の会員、事業参加者と連携し、展示会やセミナーなど共同活動を推進します。